



Honoring

# エネルギー音楽賞

## 岸本 萌乃加さん (ヴァイオリン / 東京都台東区 / 岡山県倉敷市出身)



### 【経歴】(2024年4月現在)

- 2012年 東京藝術大学音楽学部附属音楽高校卒業
- 2016年 東京藝術大学音楽学部器楽科  
ヴァイオリン専攻首席卒業
- 2019年 同大学院修士課程修了(3年間)
- 2021年 読売日本交響楽団  
次席第一ヴァイオリン奏者就任

### 【受賞歴ほか】

- 2008年 全日本学生音楽コンクール大阪大会中学の部第2位  
日本演奏家コンクール中学の部全国第1位
- 2009年 日本演奏家コンクール高校の部全国第1位  
全日本学生音楽コンクール高校の部第1位
- 2010年 日本クラシック音楽コンクール第1位グランプリ
- 2011年 宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第3位、  
聴衆賞  
東京音楽コンクールヴァイオリン部門第1位
- 2012年 横浜国際音楽コンクール第1位、  
ジェラルド・ブーレ賞、グランプリ
- 2013年 秋吉台音楽コンクール室内楽部門第2位\*1
- 2016年 アカサカ音楽賞、三菱地所賞
- 2017年 日本音楽コンクールヴァイオリン部門第3位
- 2018年 秋吉台音楽コンクール室内楽部門第1位\*1  
大学院アカサカ音楽賞
- 2023年 大阪国際室内楽コンクール第2位、  
コンクールアンバサダー賞受賞\*1  
\*1:ほのカルテットにて受賞

### 受賞の言葉

岸本萌乃加氏は、非常に才能あふれるヴァイオリニストで、その音楽スタイルは、技巧にとらわれない、人が人たる部分に手が届くような、人の五感に訴えかける演奏である。

2004年から「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」のメンバーを務め、東京藝術大学を首席で卒業し、その後も同大学院の修士課程を修了している。

2009年、全日本学生音楽コンクール(高校の部、大阪大会)で第1位を獲得し、2011年、宗次エンジェルヴァイオリンコンクールで第3位および聴衆賞、東京音楽コンクールヴァイオリン部門で第1位、2017年、日本音楽コンクールヴァイオリン部門で第3位など、数々の賞を受賞している。

また「ほのカルテット」のメンバーとしても活動を展開し、2013年、秋吉台音楽コンクール室内楽部門で第2位、2018年、秋吉台音楽コンクール室内楽部門で第1位、2023年、若手演奏家の登竜門として知られている大阪国際室内楽コンクールでは、第2次予選を最高点で通過し、準優勝およびコンクールアンバサダー賞を受賞するなど、アンサンブル技術の高さも発揮している。

さらには、2021年5月、読売日本交響楽団の次席第一ヴァイオリン奏者に就き多忙な日々を過ごしている中、地域の文化に貢献したいという思いから、故郷岡山や中国地方での演奏会にも積極的に出演するなど活動にさらなる広がりを見せており、今後、益々の飛躍が期待できる。

広島には私の音楽の原点があります。父が中国電力の社員だったこともあり、広島の病院で生まれ、2歳のころ市内の小さな社宅でヴァイオリンを始めました。自分で「やりたい」と言ったようなのですが、記憶はありません。笑

休みの日は10時間練習したり、辛いこともありましたが、コンクールや演奏会などで評価されたり、たくさんの方の励ましや賞賛が私の原動力でした。過去の練習量が今の自分の大きな土台となり、厳しかった母にも感謝です。

藝大附属高校、藝大、大学院と進み、国内外のコンクールやコンサートに挑戦し、たくさんの恩師や仲間も増え、今は読売日本交響楽団や「ほのカルテット」という大切な居場所ができました。オーケストラや室内楽、ソロの両立は大変ですが、刺激的な毎日を送っています。

こうして音楽を続けてきたことで、名誉あるエネルギー音楽賞をいただくことができ、心より感謝申し上げます。今後はこの賞に恥じないよう真摯に音楽に向き合い、聴いてくださる方の心に寄り添っていただける演奏ができるよう精進していきたいと思います。



コンチェルトの協演



大阪国際室内楽コンクール準優勝



コンクールファイナルでの演奏